

2次マスターコース(土日通学)

S・Fさん

【受験した動機】

私は、商社を早期退職し、メーカーに再就職して海外工場の立上を行って帰国後、現在、公共機関で中小企業の海外展開支援という仕事をしています。今後、仕事を発展させるために、中小企業診断士の資格を取得したいと考えたのが動機です。

私自身は、年齢は60歳以上になりますが、試験勉強に対して年齢のハンディを感じたことはありません。寧ろ中高年者の実務知識や経験が活かせる試験と思います。

【受験年度】

平成23年 大手予備校で1次・2次通学コースを受講

1次試験合格、2次試験不合格(事例Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ、C/B/A/B 総合B)

平成24年 MMCでマスターコースV(日曜通学)を受講

2次試験合格

【MMCを選んだ理由】

平成23年は1次試験の終了後に2次試験の勉強を始めました。各事例の構造、設問の意味もよく分らない中での受験となり不合格となりました。以前通っていた予備校は、2次試験に対して解答は限りなく1つとして与件文からのキーワードの抽出に重点をおいた授業でした。しかし、本試験を受けて、寧ろ中小企業診断士としての本質的な解答が求められていると感じました。

平成24年度の2次試験の勉強を始めるにあたり、中小企業診断士の同僚より、「模擬試験を受けた中でMMCの問題が一番本試験に近いと思った。また、模擬試験後の個別アドバイスがとてもよかった。」との話を聞き、MMCの存在を知りました。その後、MMCの講座説明会に出席し、少人数クラスの親身な個別指導、また事例演習の答案が毎回個別アドバイス付きで即日返却される等が自分に合っていると考えたので2次試験対策通学コースを申し込みました。

【1次試験の学習】

教科が7科目と多く、科目毎の授業進度が早いため、予備校でもらった教材のみに絞り込み、科目講義が終わったの答練で60点を取ることと、各答練でクラスの上位20%に入ることを目標に学習を進めました。

具体的には、

- ①基本テキストを繰り返し学習
- ②財務は計算問題集を繰り返し(3回転)練習(毎日、問題を解く)
- ③答練の復習
- ④1次過去問題集の繰り返し(約2回)練習

を行いました。中小企業白書だけは、カラーで見やすいこともあり白書そのものを購入してグラフ、データを覚える作業を行いました。

【2次試験の学習】

目標と先生の指導

ステップ毎の答練で、まずクラス内で上位20%に入ることを目標にしましたが、当初は事例の構成が分らず、逆に下位10%も多くて勉強の仕方に迷った時期がありました。

しかし、1月のステップ1で中居先生より事例Ⅰの特徴、特有の言葉使い、等の説明を受けて、それまで題意がよく分らなかった事例Ⅰの設問の意味がそれなりに理解できるようになり、事例Ⅰに対する苦手意識がなくなりました。また、2月のステップ2では、徳川先生への事例Ⅲの勉強の仕方に関する質問が長引いて教室の退出時間になりましたが、他の生徒と共に喫茶店に移動して先生よりアドバイスを頂きました。そこで受けた、「事例は、都度、企業の例は変わっても、問題の作り、ストーリーは同じである。また、解答に使うキーワードは限られている。」という説明が、肚にストンと落ちました。このような先生方の熱心で的確な指導のお陰で徐々に2次試験への取り組み方が分ってきました。

また、MMCの2次試験講座を申し込む前に大手予備校の講座を既に申し込んでいたため、当初大手予備校の講座にも出席していましたが、「2兎を追うもの1兎も得ず」なので、大手予備校をやめてMMCに集中することにしました。

結果として、3月のステップ3以降は、事例演習の答練でもクラスの上位20%に入ることも多くなり、1回目から3回目の模試試験では上位20%以内、最後の4回目の模擬試験では上位5%以内の成績になりました。

学習方法と学習時間

平日は、

- ①4時半に早起きをして出勤前の2時間に事例Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに関する過去問、乃至MMCの演習1事例を解く。
- ②事務所で始業前の30分間にMMCの財務GW特別講座の計算問題集の問題を解く。
- ③往復の電車通勤の時間に「2次試験対策基本学習テキスト」等の学習やキーワードの暗記。
- ④帰宅後1時間、事例Ⅳの問題を解く。

を原則としました。

勉強時間は日曜日の授業をいれて週平均25～30時間を目安にしました。ノートに勉強時間の一覧表を作成して、ペース・モチベーションの維持・管理を図りました。

2次試験合格のために特に留意した点

- ・教材：MMCよりもらった教材に限定する。
- ・解答作成：事例問題を解くにあたっては、前田先生が最初の講義で言われた「事例問題は診断実務そのものである」と、先生方が常に言われる「各設問に対する解答の論理一貫性と解答の根拠は与件文に基づく」とに留意する。
- ・健康維持：週末には、スポーツ・ジムで汗を流す。
- ・技術的なこと：マーカーの使い方等の技術的なことにはあまりこだわらず、自分自身に合っている方法を選ぶ。私自身は、最終的に、課題・問題点に対して1色、強み・弱み等に対して1色の計2色を使用しました。
- ・その他：①MMCの演習答練は再答案を必ず作成・提出する。
- ②過去問は3回を目安に解答を実際に手書きする。
- ③財務計算問題は毎日練習、繰り返す。(3～5回転)

【試験本番】

中居先生より、「本試験では予想外の問題が必ずでる。その対処法を予め考えておくことが大事。」と試験直前の第4回模擬試験の個別アドバイスで言われました。その通りに、平成24年度の事例Ⅳの設問1は例年と大きく異なり、私自身は勘違いをしたため設問1は殆ど点が取れませんでした。また時間が足りなくなり、設問3の200字問題では半分しか書けなかった等、事例Ⅳに大きなミスがありました。そのため不合格と思っていましたが、設問2以降に計算間違いをしなかったことで何とか合格ができたと思っています。

合格・不合格は、大多数の受験者にとって常に紙一重の差です。最後の最後まで諦めないで答案を書くこと、常に平常心を持つことの大切さを改めて認識しました。

【最後に】

最後になりますが、MMCの先生方のご指導に心より感謝を申し上げます。また、受験生活には家族の協力を得ることが大切です。家族の協力に感謝すると共に、今後の仕事に中小企業診断士の資格を生かしていきたいと思っています。